

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第1区分  
 【発行日】令和7年3月31日(2025.3.31)

【国際公開番号】WO2022/220213  
 【出願番号】特願2023-514639(P2023-514639)

【国際特許分類】

H 0 1 M 8/10(2016.01)  
 H 0 1 M 8/04(2016.01)  
 H 0 1 M 8/0432(2016.01)  
 H 0 1 M 8/04701(2016.01)  
 H 0 1 M 8/12(2016.01)

10

【F I】

H 0 1 M 8/10  
 H 0 1 M 8/04 Z  
 H 0 1 M 8/0432  
 H 0 1 M 8/04701  
 H 0 1 M 8/12 1 0 1

【手続補正書】

20

【提出日】令和7年3月21日(2025.3.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の評価対象の性能を温度条件を変化させて評価する評価装置であって、  
 前記評価対象を収容する炉内空間を有する加熱炉と、  
 前記評価対象又はその周囲を加熱又は冷却して温調する温調機構と、  
 前記評価対象又はその周囲における複数箇所の温度を取得する温度取得部と、  
 前記温度取得部が取得した複数箇所の温度の温度差の絶対値を所定値以下に維持するよ  
 うに前記温調機構を制御する温調機構制御部とを備える評価装置。

30

【請求項2】

前記温調機構制御部が、前記温度取得部が取得した複数箇所の温度のうち最高温度と最  
 低温度の温度差に基づき前記温調機構を制御する請求項1に記載の評価装置。

【請求項3】

前記温調機構が、前記評価対象の加熱又は冷却を促進する温調流体を前記炉内空間に供  
 給する吹出口を備えて構成されたものである請求項1又は2に記載の評価装置。

40

【請求項4】

前記加熱炉が、前記炉内空間内に発熱体を備えるものであり、  
 前記吹出口は、前記発熱体に対して前記温調流体を直接吹き付けるようにその向きが設  
 定可能な請求項3に記載の評価装置。

【請求項5】

前記吹出口は、前記炉内空間に収容された前記評価対象に前記温調流体を直接吹き付け  
 ないようにその向きが設定可能な請求項3に記載の評価装置。

【請求項6】

前記評価装置は、前記炉内空間を加熱して昇温させる昇温動作モードを有しており、  
 当該昇温動作モードにおいて、前記温調機構制御部が、前記炉内空間の温度よりも高温

50

の温調流体を供給するように前記温調機構を制御する請求項 3 に記載の評価装置。

【請求項 7】

前記評価装置は、前記炉内空間を冷却して降温させる降温動作モードを有しており、当該降温動作モードにおいて、前記温調機構制御部が、前記炉内空間の温度よりも低温の温調流体を供給するように前記温調機構を制御する請求項 3 に記載の評価装置。

【請求項 8】

前記加熱炉が、前記炉内空間に外気を取り込むための開閉可能な外気取込口を有しており、

前記降温動作モードにおいて、前記評価対象の温度が所定の設定温度を下回ると前記外気取込口が自動的に開放して前記炉内空間に外気が取り込まれるように構成された請求項 7 に記載の評価装置。

10

【請求項 9】

前記評価対象が、燃料電池、触媒又はセンサである請求項 1 又は 2 に記載の評価装置。

【請求項 10】

所定の評価対象の性能を温度条件を変化させて評価する評価装置であって、前記評価対象を収容する炉内空間を有する加熱炉と、前記評価対象又はその周囲を加熱又は冷却して温調する温調機構とを備える評価装置を用いて、前記評価対象を評価する方法であって、

前記評価対象又はその周囲における複数箇所の温度を取得し、

取得した複数箇所の温度の温度差の絶対値を所定値以下に維持するように前記温調機構を制御する評価方法。

20

【請求項 11】

所定の評価対象の性能を温度条件を変化させて評価する評価装置であって、前記評価対象を収容する炉内空間を有する加熱炉と、前記評価対象又はその周囲を加熱又は冷却して温調する温調機構とを備える評価装置用のプログラムであって、

前記評価対象又はその周囲における複数箇所の温度を取得する温度取得部と、

取得した複数箇所の温度の温度差の絶対値を所定値以下に維持するように前記温調機構を制御する温調機構制御部としての機能をコンピュータに発揮させる評価装置用プログラム。

30

40

50